

社会背景

技術の発展・グローバル化による経済構造の変化
労働者に求められる能力の高度化 労働者の能力の底上げを図る必要性

課題

経済の発展のためには、職業教育及び訓練の充実が不可欠

OECDの取組

テーマ：労働市場ニーズを踏まえた職業教育及び訓練の実現

1990年代～ VET事業の実施

労働市場のニーズに応える人材の育成、教育から就労への移行、OJTの提供における官民連携、職業教育及び訓練への投資の効率性、資格認定、職業教育及び訓練分野における教員養成

<結論>

各国の制度は様々 VET制度の国際比較を一層進める必要性

教育の分野の中でVETは他分野に比べ改革・研究の面で遅れを取っている
VETをより重視することが必要(2005年OECD教育省首席会合)

現在 更なるVET事業の実施

Learning for Jobs(教育局教育訓練課)

(テーマ) 各国のVET制度が労働市場のニーズに応えるためにはどうしたら良いか
(目的) データの改善、政策の提案、VET関連政策の評価方法の開発
(手法) 国別レビュー(政策研究)、各国政策の比較分析、指標開発
(参加国) 豪・英・韓等計8か国のレビューが完了。米(2州)・独等6か国も参加予定。
(進捗状況) 2010年には総合報告書を出版予定

日本は両事業に対し
基礎データのみ提出

Systemic Innovation in VET(教育研究革新センター)

(テーマ) 「教育におけるイノベーション()」はいかに発生するか
(手法) 先行研究のレビュー、国別事例研究、比較分析(参加国) 豪・独等6か国
(進捗状況) 2007～2008年に事業が行われ、現在最終報告書を作成中
「教育制度・仕組みに何らかの改善・進展をもたらす大規模な変化」

<現段階における洞察>

VETの効果的な実施には、生徒と企業、教師と訓練者の間に適切な支援(bridge)が必要。政府・雇用者・労働組合の連携及び労働市場における学習成果を示すデータが重要。

イノベーションの仕組みを体系化することが各国VET制度の改善に繋がる。そのためには的を絞った評価及び研究によるフィードバックが不可欠である。